



小・中学生全国空手道選手権大会で中学生男子形の部で優勝した柏さん(写真左)と道場指導者の飯島龍太さん(写真右)

小・中学生全国空手道選手権男子形の部で柏湧斗さんが優勝

長野県のオリンピック記念アリーナ・エムウエーブで開催された「第55回小学生・中学生全国空手道選手権大会」で、岩瀬東中1年生の柏湧斗さんが、中学1年男子形の部で見事優勝し、日本一の栄冠に輝きました。

柏さんは、日頃から市内高久地区の大和道場で稽古を重ねてきました。体形は小柄ですが、指導者の下で熱心に技を磨いてきました。「この優勝は道場や支えてくれたみんなのおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れずに空手を続けたい。」と、柏さんは話していました。

茨城女子アマW'sゴルフで皆川・鈴木ペアが第3位入賞

石岡市のサミットゴルフクラブで開催された、第11回茨城女子アマチュアダブルスゴルフ選手権大会で、桜川市から出場した皆川三代子(真壁町白井地区)・鈴木幸江(青木地区)組が3位タイに入賞しました。

29組・58人が出場した今大会は、2人の各ホールベストスコアを採用する18ホールズフォアボールストロークプレーのチーム戦。皆川・鈴木組は、イン37・アウト37の2オーバーで回りました。ペアを組んで7年目の皆川・鈴木組は「2人の調子がうまくかみ合って入賞できました。3度目の入賞に満足です。」と話していました。



過去7回の当ゴルフ大会に出場し、5位以内の入賞を3回達成した皆川(写真右)・鈴木ペア(写真左)



今回で堂々の3連覇を達成した「V.V.A.C.E(ヴィヴァーチエ)」の皆さん

ママさんバレーボール連盟杯V.V.A.C.E今年で3連覇

体育の日の10月8日、岩瀬体育館「ラスカ」で、第7回桜川市ママさんバレーボール連盟杯大会が開催されました。

当日は、市内の13チームが参加し、A・Bブロック別に3セットマッチのトーナメント戦が行われました。Aブロックの決勝戦は、今年で3年連続同カード、V.V.A.C.E(ヴィヴァーチエ)(岩瀬地区)VSグレース(真壁地区)。セットカウント2-10により、V.V.A.C.Eが見事3年連続の優勝を飾りました。また、第3位には松田クラブ(岩瀬地区)が入賞しました。

第3回桜川地区高齢者交通安全グラウンドゴルフ大会が開催

10月10日(水)、真壁運動場で桜川地区交通安全協会主催の第3回桜川地区高齢者グラウンドゴルフ大会が開催され、市内24チーム・約120人が参加しました。

これは、現在、高齢者の交通事故が多発・増加しているため、高齢者の交通安全意識の高揚を図る目的で開催されたもので、会場内に作られた8つのグラウンドゴルフコース内には、信号機や横断歩道などが設けられ、参加者は、道路横断の安全確認や右側通行などの交通ルールに気を付けながらゲームを楽しみました。



高齢者の皆さんは、横断歩道などでの交通ルールを守ってグラウンドゴルフを楽しみました。

新たな真壁石燈籠伝統工芸士の誕生に期待!

10月11日(金)、真壁高校稲荷農場の石材作業場で、真壁石燈籠伝統工芸士認定の国家試験が5年ぶりに実施され、市内で石材業を営む4人の方が実技試験に挑みましました。

真壁石燈籠は、国の伝統的工芸品として地域指定されており、昔ながらの技法で燈籠を制作しているのが伝統工芸士です。現在、真壁石燈籠伝統工芸士会(小原正会長)では、21人が伝統工芸士として活躍していますが、後継者不足が懸念される中、新たな伝統工芸士の誕生に希望を膨らませています。



3日間で課題作の梵字形燈籠を制作するため受験者は真剣にノミなどをふるって試験に挑んでいました。

約800人が市内各区域で一斉に清掃活動

10月8日(月・祝)、桜川市内の各小学校区を単位とした区域で、青少年のための社会環境浄化活動が実施され、参加した約800人の皆さんは清掃に汗を流しました。

これは、青少年育成桜川市民会議の主催で行われたもので、市の各種団体および地域住民の皆さんなどが参加し、市内11の各小学校区域で、通学路を重点的に違法捨て看板などの撤去やゴミ・空き缶の収集と通学路の安全点検などを実施しました。2時間ほどの作業時間で集められたゴミは、軽トラック11台分もあり通学路はきれいになりました。



各小学校区単位で展開された社会環境浄化活動により通学路はきれいになりました。

下水道・農業集落排水接続促進街頭キャンペーン

9月30日(日)、(株)カスミフードスクエア岩瀬店で、市と茨城県が、地域住民の皆さんに水質浄化の意識を高めていただくこと、下水道・農業集落排水接続促進の街頭キャンペーンを実施しました。

これは、9月10日の「下水道の日」の活動の一環として行われたもので、当日は、買い物客の皆さんへ、リーフレットや啓発品を配布し、公共下水道や農業集落排水への早期接続の呼びかけと未接続世帯への戸別訪問を実施しました。生活環境の向上や河川などの水質保全のために、早期接続にご理解とご協力をお願いいたします。



街頭キャンペーンには、桜川市のゆるキャラ「いしおさん」も参加。買い物客の皆さんにリーフレットなどを配布し下水道への早期接続を呼びかけました。

震災被害の大谷石をピザ窯で再利用

昨年の東日本大震災で倒れた大谷石堀の再利用を目的に、桜川北部ふるさとづくり協議会と市の協働で「ピザ窯」が作製されました。大谷石は耐火性に優れ、遠赤外線効果もありピザ窯やパン焼きにも使用されています。

10月14日(日)には、そのピザ窯の窯開きイベントとして「婚活パーティー」が開催され、ピザづくりを通してふれあい事業に利用されました。今後は、このピザ窯を大泉地区にある農産物直売所「さくら」に設置。地元の農産物を活かしたピザづくりや食育などに活用される予定です。



手作りピザ窯の窯開きでは、市内でレストランを営む小瀬秀二さんからピザ焼きの指導をいただきました。